

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県・加古川市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	加古川文化遺産を活かした地域活性化プラン		
4 実施計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 30 年度		
5 実施計画の概要			
<p>加古川市の文化振興ビジョン（平成15年8月策定、平成22年9月改訂）にある「市民が歴史・風土・伝統・学習に対する関心を高め、主体的に文化的な活動に取り組む中で、交流・共有の輪を広げ、生活にうるおいや豊かさをもたらす」とする基本目標を踏まえ、以下の事業を実施する。</p> <p>まず、加古川の民俗芸能の獅子舞・屋台運行を途絶えさせないために、次世代継承のための後継者育成と用具の修理を行い、民俗芸能保存団体の協議により企画・調整を行い、成果発表の場である祭礼を市民に周知し民俗芸能の興隆を図る。そして、市内の史跡整備が完成した史跡西条古墳群の古墳文化と、播磨の法隆寺と称される鶴林寺の仏教文化を加味した地域文化財を基盤に、古代から近代までの文化発展の先人の足跡を文化財講座として学習し、合わせて地域の民俗文化を継承しながら、21世紀の加古川のアイデンティティの確立と市民のアソシエーションの自覚に繋がる文化的基盤を形成する。これらの事業を総合的に展開するために、文化遺産ガイドボランティアグループを結成し人的基盤づくりを行い、市内の町づくり協議会とも連携し、文化遺産活性化の恒常的なガイドツアー体制の確立を図る。</p> <p>(1) 加古川文化遺産ガイドボランティア人材育成と文化遺産ガイドツアー実現（平成28～30年度）  (2) 無形文化財の後継者育成、用具の修理（平成28～30年度）  (3) 伝統文化継承の親子体験教室の開催（平成28～30年度）  (4) 史跡西条古墳群を歴史体験場所として活用と、国登録建造物の公開活用推進（平成28～29年度）</p>			
<p>加古川市が、本実施計画の企画・調整や、各補助事業に係る指導を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。  教育委員会文化財調査研究センター：文化財の取扱等に関する指導・調整。  教育委員会社会教育スポーツ振興課：体験学習の調整  加古川観光協会：開催案内啓発の連携、地域文化課：文化振興調整  また事業の実施については、次の団体が実施：加古川文化遺産活性化実行委員会（会長梅田和義）、構成団体（加古川市文化財保護協会、福留日岡神社神事保存会ほか48団体）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 71,074 千円	平成29年度申請額： 6,339 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>想定される効果</p> <p>1. 祭礼用具の修理と説明会開催により、昨年より参加者が各団体に村落外からの参加が平均40～50人増加している。3団体でアンケートをしたところ82%が来年も参加したいと回答した。平成28年度は、村落外からの参加10～20%増加しており、平成29年度もこの傾向が続けていくことを目標とする。また志方では障がい者団体の参加人員が増加するなど、祭礼行事に新しい参加形態が生まれてきている。祭礼の継続は、地域の新旧住民が交流できる場を生みだし、保存会員にも地域の民俗芸能を継承していく意識向上に効果が見られる。これが民俗芸能団体連絡会の立ち上げに繋がっており、さらに平成26～28年度では3団体の共演が継続している。これは各団体相互の技量の向上に結び付くだけでなく、祭礼の親近感から認知度が広がり参加者の増加を生み、将来の観光イベント開催実現に結び付く効果となる。平成28年度の40団体に対する達成率は72%である。</p> <p>2. 文化財を知る欲求が強いことから、加古川文化遺産活性化実行委員会では文化遺産ボランティアの会の発足を目指し、平成28年度にガイドボランティアのための講座開催によりボランティアの会を結成し（会員目標を平成29年度には40人とする）、文化遺産コース（平成28年度に6コースを設定）の設定から、さらに祭礼行事も取り入れた文化遺産の総合的把握を行い、これを歴史文化基本構想の策定に繋げていく効果を生み出す。平成28年度の達成率は75%である。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	加古川市文化財講座（加古川市教育委員会主催、加古川市文化財保護協会協賛）毎年11月～12月に実施する文化財講座で活性化事業活動を案内配布。		

事業概要：	地元ケーブルテレビBANBAB放送による祭礼の番組制作と放映（予定）を行う。
事業概要：	市教委、観光協会のホームページに文化遺産ガイドコースを掲載する。
事業概要：	加古川観光協会ギャラリーにて加古川の祭り写真展を開催（平成28年度は寺院建築写真展開催）。
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
<p>加古川市の特性を踏まえた歴史文化基本構想を策定すべく、平成28年度に平成29年度歴史文化基本構想事業として要望書提出した。策定計画では、平成29年度に歴史文化基本構想のための事前基礎調査を行い、策定検討委員会を立ち上げ、その討議検討を踏まえて歴史文化基本構想を策定成文化し、平成31年度に印刷等で周知し、その実行に向けて進展させていくことを目標にしている。</p>	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	加古川市教育委員会文化財調査研究センター

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	民俗祭礼団体の地域への積極的周知による、平之荘神社秋祭り等の祭礼参加者数の増加を図る			関連事業 :	事業③④⑤⑥⑦⑧⑩⑪⑫⑬	
目標値 1 :	平成 29 年度	3,000 人	⇒	平成 30 年度	4,500 人	
設定根拠 1 :	平成27年度に加古川市「まちづくり戦略」の入込客数を参考に、伸び率1.03倍として設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	用具の修理整備による民俗祭礼後継者の恒常的確保			関連事業 :	事業③④⑨	
目標値 2 :	平成 29 年度	2,000 人	⇒	平成 30 年度	3,000 人	
設定根拠 2 :	平成28年度までの保存会全体の会員（後継者）数が平均伸び率5%に対し、2倍の10%を確保					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 3 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 3 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	自主事業としての文化遺産ガイドツアーの複数開催による参加者数の増加と、加古川市への来訪者を増やす効果に繋げる			関連事業 :	事業①②	
目標値 3 :	平成 29 年度	1,000 人	⇒	平成 30 年度	2,000 人	
設定根拠 3 :	ボランティア団体の結成と平成29年度文化遺産案内地図印刷によるガイドツアー開催の取り組み					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 4 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 4 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	国史跡西条古墳群の歴史体験場所としての活用			関連事業 :	事業②	
目標値 4 :	平成 29 年度	500 人	⇒	平成 30 年度	1,000 人	
設定根拠 4 :	史跡整備が完成する国史跡西条古墳群を会場にガイドボランティアによる歴史体験教室の開催					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
人	人	人	人	人	人	



事業④：	福留日岡神社秋祭りに使用する天狗面修理	実施団体：	福留日岡神社神事保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度	～	平成 30 年度	
事業概要：	天狗面は、長年の使用により面に割れがあり、漆も剥落し禿げている。今後も祭りを継承し使用したいため修理を行う。秋の祭礼時に説明会を開催する。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	後継者育成伝統文化親子教室を行い育成継承に努めているが、親子での福留日岡神社秋祭りの参加者の増加を図りたい。					
目標値：	平成 29 年度	170 人	⇒	平成 30 年度	190 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業⑤：	稲根神社秋祭りに使用する獅子枚衣装新調、獅子頭修理	実施団体：	西之山獅子舞保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度	～	平成 30 年度	
事業概要：	獅子舞で使用するたつつけ袴に破れと色褪せ、紅白わた綱は中身のわたが溢れているため新調する。獅子頭は表面には割れが生じ漆膜も禿げてきているため修理を行い、祭礼時に説明会を開催。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	祭礼を継承していくため近隣住民にも呼びかけ、稲根神社秋祭りの参加者数の増加を図る。					
目標値：	平成 29 年度	100 人	⇒	平成 30 年度	150 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
90 人	人	人	人	人	人	
事業⑥：	厄神八幡神社秋祭りに使用する獅子頭修理	実施団体：	宗佐屋台、笛、獅子舞保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度	～	平成 30 年度	
事業概要：	獅子頭は、頭部に割れがあり漆膜も禿げてきている。今後も祭りを継承し使用するため修理する。修理後は、祭礼時に説明会を開催する。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	過疎化の中、祭礼を地域交流と捉え、厄神八幡神社秋祭りの参加者の増加を図りたい。					
目標値：	平成 29 年度	85 人	⇒	平成 30 年度	90 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
人	人	人	人	人	人	

事業⑦:	上ノ庄神社秋祭りに使用する太鼓皮張替、屋台垂木金具修理	実施団体:	船町屋台保存会		
事業区分:	用具等整備	事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 年度		
事業概要:	太鼓の皮は毛羽立ち張り緩くなり音の響きも悪いため、皮の張替を行う。また屋台垂木金具は長年の運行で金具に錆と亀裂が入っているため修理を行い、祭礼時に説明会を開催する。				
評価指標区分:	・祭礼行事への参加住民数		(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	祭礼参加を地域交流と捉え、地域外にも呼びかけ上ノ庄神社秋祭りの参加者増を図りたい。				
目標値:	平成 29 年度	420 人	⇒	平成 30 年度	500 人
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
人	人	人	人	人	人
事業⑧:	平之荘神社秋祭りに使用する屋台泥台修理	実施団体:	山角屋台保存会		
事業区分:	用具等整備	事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 年度		
事業概要:	屋台は長く使用されてきたが、泥台の柱に割れや金具の劣化があるため、屋台の安全な運行のため修理を行う。修理した屋台は、祭礼時に修理説明会を催したい。				
評価指標区分:	・祭礼行事への参加住民数		(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	祭礼時以外に共演を行っており、この共演時間を増やすことで平之荘神社秋祭りの参加者増に繋げたい。				
目標値:	平成 29 年度	700 人	⇒	平成 30 年度	900 人
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
人	人	人	人	人	人
事業⑨:	上山八幡宮秋祭りに使用する屋台太鼓バチ新調	実施団体:	投松秋祭り保存会		
事業区分:	用具等整備	事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 年度		
事業概要:	屋台の運行には太鼓囃子が欠かせない。これを奏でる太鼓のバチに摩耗と割れが生じているため新調する。				
評価指標区分:	・保存会会員数の変化(維持)		(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	過疎化の中、祭りを維持するため現在の会員数を維持し、地域外にも呼びかけ投松秋祭り保存会の会員数増を図る。				
目標値:	平成 29 年度	32 人	⇒	平成 30 年度	35 人
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
人	人	人	人	人	人
事業⑩:	下西条八幡神社秋祭りに使用する屋台布団、屋台天幕新調、獅子頭修理	実施団体:	下西条八幡神社神事保存会		
事業区分:	用具等整備	事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 年度		
事業概要:	布団屋台の布団が綻び中の綿が露出、天井となる天幕にも破れがあるため新調する。獅子頭は、使用材に破損があり、漆塗装もはげているため修理を行う。				
評価指標区分:	・祭礼行事への参加住民数		(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	平成28年度の下西条八幡神社秋祭りの住民参加は100人ほどであったが、さらに10%を増加させたい。				
目標値:	平成 29 年度	110 人	⇒	平成 30 年度	150 人
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
人	人	人	人	人	人

